

令和8年度 京都市立九条塔南小学校 学校だより

九条塔南



学校アンケート

結果号(前期)

令和 8 年 10 月 30 日

京都市立九条塔南小学校

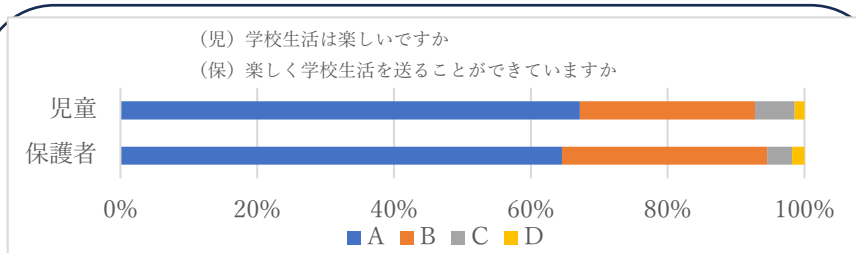
校 長 出 口 章

～前期学校アンケートの結果をふまえて～

夏休み前に①児童②保護者③教職員に、学校教育に関するアンケートを行いました。今年度も内容項目を三者とも同じものにし、より分析、比較しやすいように実施しました。各項目の詳しい結果はホームページ内にありますので、ご参照ください。

楽しい学校を目指して

子どもたちが一日の大半の時間を過ごす学校だからこそ、まずは安心して学校生活を送ることが大切だと考えています。4月当初に「塔南小のきまり」を、各学級で指導しました。そして子どもたちが頑張ることとして「5つのあ」を提示しています。「5つのあ」とは、①あいさつ②あとかたづけ③ありがとう④あんぜん⑤あったかくです。また、いじめを絶対に許さない姿勢、指導はもちろん、各教科や方面で子どもたちの居場所づくりを行っています。



(児) A: とても楽しい B: 楽しい C: あまり楽しくない D: 楽しくない

(保) A: 出来ている B: やや出来ている C: やや出来ていない D: 出来ていない



今年度も児童の体力向上や休み時間の充実を考え、木曜日の昼休みを「ロング昼休み」と位置づけ、普段よりも長い昼休みを設定しました。学級みんなで遊ぶ企画をしたり、教職員も遊びに参加したりと、遊びを通して、体力の向上と心の開放を大事にしてきました。また、この時間を活用し、「スマイル遊び」を行っています。1年生から6年生までの異年齢集団と共に遊ぶことを通して、より楽しい時間を生み出すことができたのではないかと思います。しなしながら、一定数の児童、保護者の方が学校に不安を抱えておられることも事実です。今後も子どもを中心に置いた学校づくり、保護者の方が安心して送り出せる学校づくりに尽力したいと思います。

本に親しむ習慣を

本校では、朝の１０分間を「さわやか読書タイム」と称して、読書活動に励んでいます。子どもたちは、朝、登校したら準備をし、学級文庫や図書室で借りた本を静かに読みます。一日の始まりである朝に読書をすることで、心の落ち着きと、これからの学習に向かう集中力を育てています。また、毎日行うことで、本を読むこと、

本に触れることを習慣化する目的もあります。

読書月間は、先生のおすすめの本を紹介したり、図書委員会の子どもたちが本を読み聞かせをしてくれたり、単に本を読むだけではなく、興味の幅を広げたり、知らない世界を知ったりと心を育む取り組みであると考えています。今年度は１０月１５、１６日に選書会を行いました。ランチルームの机に並べられた新しい本の中から、自分のお気に入りの本を一冊選びます。

アンケート結果からも、子どもたちにとって本は、割と身近な存在なのかもしれません。しかし、家庭となると難しい面があるのだと思います。だからこそ、学校の図書活動、読書の時間が大切になってくると思います。今後は、司書教諭や委員会活動と連携し、読書の新たな活用の仕方を提案し、さらなる発展に向けて進めていきたいと思っています。

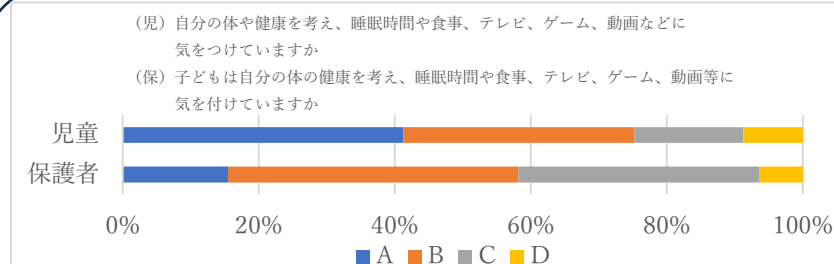


毎日の生活習慣を大切に

本校では、夏休み明け・冬休み明けの２回「生活点検週間」を実施し、規則正しい生活リズムがつくれるように取り組んでいます。また、ご家庭でもお子さまの睡眠時間の確保などを意識していただいていることと思います。今回のアンケートでは、子どもたち自身は「気をつけている」と感じている割合は高いの

に対し、保護者の皆様の視点では「気をつけている」の割合が低く、子どもと保護者間で意識に違いがあることがわかります。

子どもたちなりに気をつけているつもりでも、保護者の方から見ると「もう少し時間を意識



(児) A：気をつけている B：やや気をつけている C：あまり気をつけていない D：気をつけていない
(保) A：出来ている B：やや出来ている C：やや出来ていない D：出来ていない

してほしい」と感じる場面が多いのかもしれませんが。学校から帰宅した後は、宿題や習い事など日々のことに追われ、ゆったりと過ごすことが難しい側面もあるかと思います。しかし、健やかな成長や学校での活気ある毎日のためには、十分な睡眠とバランスの良い生活習慣が欠かせません。また最近では、動画やSNS等の利用時間が長くなり、生活習慣が乱れやすい環境にあります。今一度、利用に関してのルールをお子さまと見直していただき、ルールが守れた際には、しっかりと褒めていただきたいと思います。

茶道教室の様子



給食の様子



学校行事の様子



学校運営協議会にて理事の方々にアンケート結果を報告しました。以下、いただいた評価になります。

- ・あいさつの声が大きくなった、あいさつをする子は増えて良いと思う。
- ・家庭教育力の向上のためにも横のつながりを大切にしたい。
- ・外国籍の子ども、日本語が上手く話せない子や家庭に対しての支援、補助について考えてほしい。
- ・タブレット・スマホを使う子どもの増加に伴う、SNSトラブルへの対応も考えないといけない。
- ・放課後の過ごし方に課題がある。公園の使い方は保護者、地域もしっかりと指導していきたい。



保護者の方からは、普段の学校生活や行事の在り方、学校体制について様々な角度からご意見・ご感想をいただきました。アンケート結果やコメントは、全ての教職員が見ており、今後の教育活動、学校づくりに生かしてまいります。

次回のアンケートは12月ごろに予定しております。こちらもご協力くださいますよう、どうぞよろしくお願いいたします。